

はじめに

現在の我が国は、グローバル化や少子化高齢化が進み、人間関係の希薄化、家庭や地域社会の教育力の低下等の問題が深刻化しています。

教育界におきましても、中央教育審議会の第2期教育振興基本計画（答申）においては、この危機的な状況を打開するために「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の養成」など教育行政の4つの基本的な方向性が示されました。また、教育再生実行会議等からも、いじめ対策、道徳の教科化、小学校英語の教科化、小中一貫教育制度の導入、教師のインターン制度の導入などが提起され、さらに教育委員会制度の改革など平成の教育制度の大改革とも言える動きが矢継ぎ早に出されています。

このような中、本校では、教育活動の活性化とともに教職員の指導力向上と組織力の向上のために、昨年度から熊本県教育委員会より「生きる力」を育む研究指定校事業学力充実研究推進校の指定を受け研究を進めてまいりました。

研究主題は、本校の一昨年までの研究実践の成果と課題を踏まえ「豊かな学び合いを通して、考える力と学ぶ意欲をもった児童の育成」とし、各教科の授業研究を中心に位置づけ、全職員一丸となって取り組んでまいりました。

本日は、この研究発表会を「ご参会いただきました先生方からご指導とご助言を仰ぐ場」として位置づけ、20本の授業を公開するとともに、6つの国語科の授業を提案授業とします。各分科会や全体会で十分にご協議いただき、さらに本校の研究の充実が図れればと考えております。ご参会の先生方には、どうか忌憚のないご指導とご助言をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本発表会の開催に当たり、ご指導とご助言をいただきました熊本教育委員会並びに玉名教育事務所、玉名市教育委員会をはじめ関係各位に敬意と感謝を申し上げます。また、運営に献身的にご協力をいただきました皆様に心からお礼を申し上げ挨拶といたします。

平成25年11月28日

玉名市立玉名町小学校 校長 松尾 隆彦